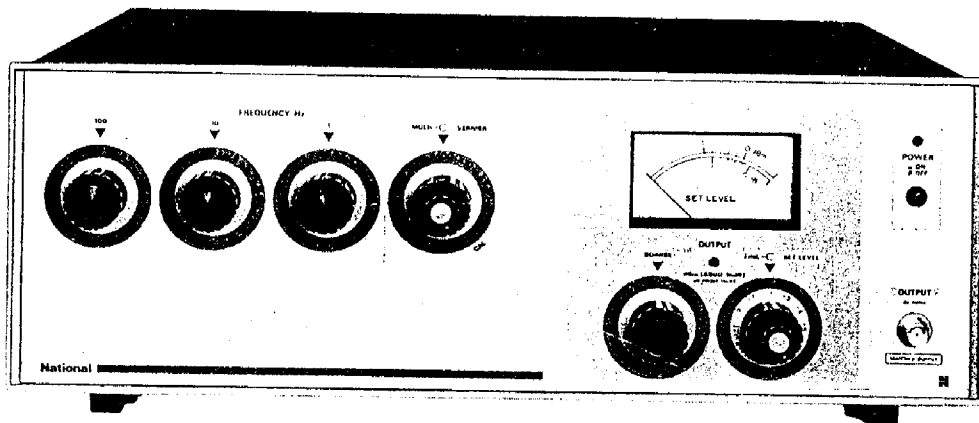


RC発振器(超低ひずみ率)・1Hz~99.9kHz  
VP-7220C

## 低周波発振器



### VP-7220C

#### RC発振器(超低ひずみ率)

MTBF 実績値 66,500時間

VP-7220Cは、周波数範囲1Hz~99.9kHzを3つのディケードダイヤルと1つの倍率スイッチで設定するディケード方式のRC発振器です。

ひずみ率を劣化させない独自の振幅制御回路を内蔵し、0.002%以下のひずみ率を達成。低レベルにおけるS/N比も向上しております。

主出力に対して、確度のよい90°位相差をもった出力を同時に取り出すことができますので、特殊な位相関係の測定にもご使用いただけます。

この発振器と組み合わせて超低ひずみ率測定が容易にできる超低ひずみ率計VP-7702Cの併用をおすすめします。

#### 特徴

##### ■0.001%以下の超低ひずみ率(1kHz実測例)

独自の振幅制御回路(特許出願中)の採用で、0.002%(規格値)の超低ひずみ率を実現しました。しかも周波数切換え時に発生するトランジェントも高速で安定し、いつも一定の出力を供給します。また、低レベルにおけるS/Nも向上。より正確な測定ができます。

##### ■0.02dBのフラットネス

振幅制御回路は、フラットネスも検知限界に近い±0.02dB以内を実現しました。低ひずみ率計と合わせて高性能アンプ、フィルタなどの新たな分析や測定に欠かせない信号源です。

##### ■90°位相をもつQUAD出力

主出力に対して、周波数に無関係に90°位相の進んだ出力(QUAD)が供給できます。また、出力を約30dB以上連続に変化できる出力調整器を内蔵しています。この出力を利用して、2相出力の信号源として特殊な位相関係の測定にご利用いただけます。

# 低周波発振器

RC発振器(超低ひずみ率)・1Hz~99.9kHz  
VP-7220C

## 仕様

発振周波数: 1Hz~99.9kHz  
周波数誤差:  $\pm(2\%+0.1\text{Hz})$ 以内  
出力電圧: 10Vrms(開放), 5Vrms(600 $\Omega$ 負荷)  
MAIN出力  $\pm 3\%$   
QUAD出力  $\pm 10\%$  } 1kHzにおいて

出力周波数特性: MAIN出力  
 $\pm 0.02\text{dB}$ 以内, 30Hz~20kHz  
 $\pm 0.05\text{dB}$ 以内, 20~50kHz  
 $\pm 0.1\text{dB}$ 以内, 10Hz~99.9kHz

QUAD出力  
 $\pm 0.2\text{dB}$ 以内, 30Hz~20kHz  
 $\pm 0.5\text{dB}$ 以内, 10Hz~99.9kHz

ひずみ率: 0.002%以下, 50Hz~50kHz  
(MAIN出力) 0.004%以下, 5Hz~99.9kHz

} 600 $\Omega$  終端

出力インピーダンス: 約600 $\Omega$  不平衡  
(MAIN出力, QUAD出力とも)

出力減衰器: MAIN出力  
10dBステップ $\times 7$ (-60~+10dBm)  
1dBステップ $\times 9$ (-3~+6dBm)  
1dBステップ間連続可変  
QUAD出力  
30dB以上連続可変

MAIN-QUAD位相差: 約90°

## 電源

電圧・周波数: 100V $\pm 10\%$ , 50/60Hz

消費電力: 約15VA

## 環境条件

動作温度: 0~+40°C

動作湿度: 20~85% RH

大きさ・質量: W430 $\times$ H150 $\times$ D350mm, 約5kg

付属品: BNCケーブル(VQ-025J10).....1  
接地アダプタ.....1  
ヒューズ.....1  
取扱説明書.....1